

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP World Supersport Round 4 Motul Dutch Round Race Report

2週連続開催のWorldSBKヨーロッパラウンド。 TT Assen Circuit 予選を5番手で終える。

2週連続開催となったスーパーバイク世界選手権 (WorldSBK)。Round 4 Motul Dutch RoundがオランダのTT Assen Circuitで開幕。今回も気温が低く、前大会に似たコンディションでウィークがスタートした。

ここまでKAWASAKI勢トップを走る大久保。今シーズンは自身のアベレーシタイムが向上している分、新しい課題も発生。しかし一つを確実に克服し、レースの結果に繋げている。まずは、表彰台を狙い全力の戦いが続く。

今大会も残念ながら気温が上がらず、FP全セッションを通して10度を越えなかった。非常にタイヤのグリップを引き出す事が難しいコンディションの中、大久保はTOPとの差を約0.5秒内で納め、Superpoleの結果に期待が掛かる。

WSSP Superpoleは気温5度、路面温度8度の中、現地時間午前11時40分にスタート。序盤に1分38秒724を計測し一時3番手に付ける。その後一旦ピットインし、更なるタイムアタックに入った所で不運に見舞われる。前方のマシンがオイルを吹き、コース上が非常に危険な状態に。その後方では大久保はアタックラップ中で、SPLIT3まで自己ベストを更新。フロントローを狙えるペースであったが、TURN14でオイルに乗ってしまい転倒。その直後、赤旗中断となってしまった。幸いにも大久保に怪我は無く30分後に10分間のセッションが再開されたが、雪の為に路面が濡れてしまっていた事もあり、一周だけ走行しマシンのチェックのみ行った。結果、序盤に計測したタイムがベストタイムとなり明日の決勝は5番手よりスタートする事となった。

■大久保 光

「今回はラッキーとアンラッキーが重なりました。前回のレースで課題となった、気温が低いコンディションでタイヤのグリップを引き出す事は上手くいっていたと思います。Superpoleも序盤でしっかりタイムを出し、更にタイムを刻もうとアタックラップに入り、フロントローを狙えるタイムで走行出来ていた所、コース上のオイルに乗ってしまい転倒してしまいました。私を含め3台が転倒したのですが、幸い怪我もなく、セッション再開には間に合いました。しかし、雪が酷く路面も濡れて危険な状況だったので、一周だけマシンのチェックの為に走りました。その時点で他のライダーも含めてタイムアップは難しく、序盤に出していたタイムで結果的に5番手セカントローよりスタート出来るので、その部分に関しては天候に助けられました。フロントローを確実に狙えるタイムで走行出来ていたので残念な事でもあります。明日は切り替えて表彰台に登れるように頑張ります。引き続き応援よろしくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>



Kawasaki Puccetti Racing



PuccettiRacing



puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>



hikariokubo78



hikari_No78



hikariokubo78